

G-SIBsリストにみる国際的な金融勢力図の変化 — 欧米のプレゼンス低下と中国の台頭 —

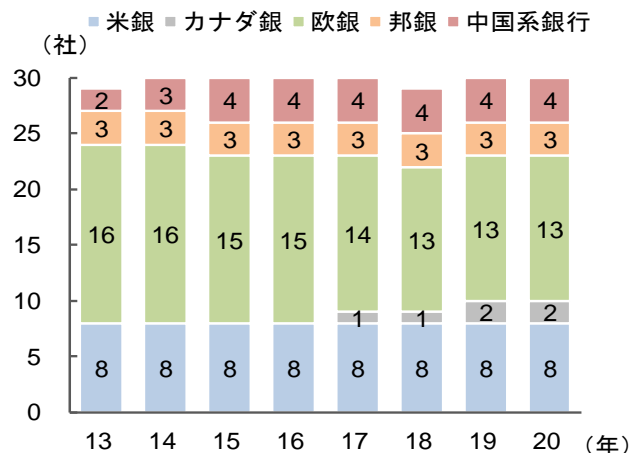
- (1) 金融安定理事会 (FSB) は、11月11日、「グローバルなシステム上重要な銀行 (G-SIBs : Global Systemically Important Banks)」の2020年版のリストを公表 (図表1)。選出された金融機関30社は前年と不変ながら、金融システム上の重要度によって区分されたバケット毎の変動をみれば、米JPMorgan Chaseがバケット4から3へ、米Goldman Sachsと米Wells Fargoがバケット2から1へ低下する一方、中国建設銀行がバケット1から2へ上昇。
- (2) G-SIBsに選出される金融機関数は30社前後とほぼ横ばいで推移しているが、内訳をみれば、欧銀が減少する一方、中国系銀行が増加 (図表2)。バケットの変動をみても、欧米銀が低下する一方、中国系銀行は上昇傾向 (図表3)。個別行の項目別スコアを比較すると、Deutsche Bankは経営環境の悪化等を受けて事業の選択と集中を進めた結果、全般的に低下。これに対して、中国銀行は、規模のみならず、相互関連性や代替可能性、複雑性の項目も上昇 (図表4)。
- (3) G-SIBsリストにおける中国系銀行のプレゼンス向上は、中国の経済・金融動向が国際金融システムに与える影響の高まりを示唆。今後、中国系銀行の国際金融の枠組みにおける発言力や、国有である中国系銀行の台頭が公正な国際競争を阻害することへの懸念が高まる可能性。
- (※) G-SIBsについて：①規模、②相互関連性、③代替可能性/金融インフレ、④複雑性、⑤国際的な活動、の5つの項目に分けて、各行のスコアを算出。一定の点数以上となった金融機関を「G-SIB」に指定。点数に応じて、5つのバケットに分類し、「G-SIBサーチャージ」と呼ばれる追加の資本賦課を実施。

(図表1) 2020年のG-SIBsリスト

バケット	サーチャージ	金融機関名
5	3.5%	—
4	2.5%	—
3	2.0%	(米) Citi, JPMorgan Chase [▼] (欧) HSBC
2	1.5%	(米) Bank of America, (欧) Barclays, BNP Paribas, Deutsche Bank (中) 中国銀行、中国建設銀行 [▲]、中国工商銀行 (他) 三菱UFJFG
1	1.0%	(米) Wells Fargo [▼]、Goldman Sachs [▼]、 Morgan Stanley, Bank of NY Mellon, State Street (欧) Standard Chartered, Credit Agricole, ING, Santander, Societe Generale, Groupe BPCE, UniCredit, Credit Suisse, UBS (中) 中国農業銀行 (他) 三井住友FG、みずほFG、 Royal Bank of Canada, Toronto Dominion

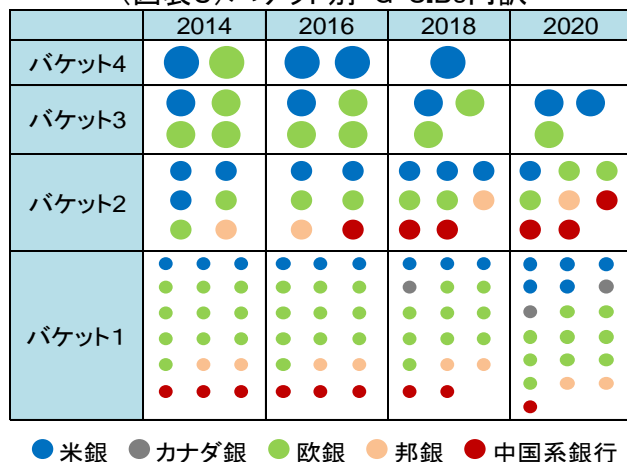
(資料) FSB

(図表2) G-SIBsの年別推移



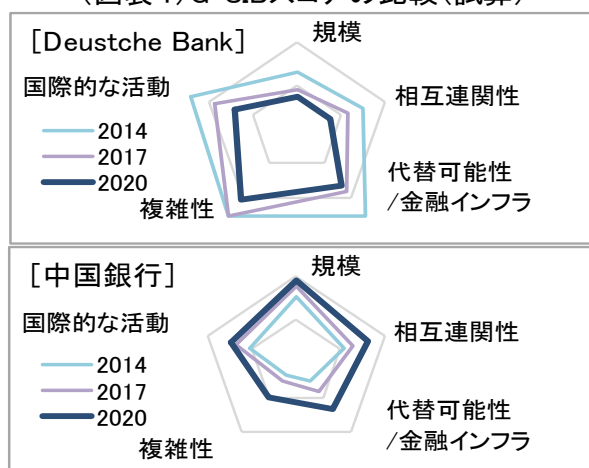
(資料) FSB

(図表3) バケット別・G-SIBs内訳



(資料) FSB

(図表4) G-SIBスコアの比較 (試算)



(資料) FSB公開資料より日本総研試算

【ご照会先】 調査部 金融リサーチセンター 副主任研究員 谷口 栄治 (taniguchi.eiji@jri.co.jp, 080-4377-3420)

本資料は、情報提供を目的に作成されたものであり、何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。本資料は、作成日時時点で弊社が一般に信頼出来ると思われる資料に基づいて作成されたものですが、情報の正確性・完全性を保証するものではありません。また、情報の内容は、経済情勢等の変化により変更されることがありますので、ご了承ください。